

# 顎口腔領域におけるMRI診断

## 編集

大阪医科大学教授 島原政司  
大阪医科大学講師 有吉靖則

## 執筆 (50音順)

大阪医科大学講師 有吉靖則  
大阪医科大学講師 上杉康夫  
大阪医科大学助教 木村吉宏  
明海大学歯学部教授 坂下英明  
大阪医科大学教授 島原政司  
和歌山県立医科大学教授 藤田茂之

B5判 210頁  
2色刷+口絵カラー  
定価(本体8,500円+税)  
ISBN978-4-7624-1623-1

## 顎口腔領域におけるMRI診断

第2版

編集  
島原政司  
有吉靖則

執筆  
有吉靖則  
上杉康夫  
木村吉宏  
坂下英明  
島原政司  
藤田茂之

学建書院



急速な医療技術の革新のなかで、コンピュータ技術を取り入れた画像診断の進歩は目覚ましく、歯科領域、特に口腔外科領域においては、その診断、処置、経過観察に欠くことのできないものとなっている。

本書は、2001年に本邦初のMRIの解説書として発行した「MRI – 顎口腔領域の診断 – 」の第2版である。新たな著者も加わり、より充実した内容に改訂した。

### 本書の特徴

- 歯科医、研修医、および学生を対象に、MRI診断に対応できるよう基本的事項と応用例をまとめた。
- 総論では、MRIの原理から技術をわかりやすく解説し、各論では、できるだけ多くの症例をとりあげて観察のポイントを明記した。
- 第2版では、超音波診断、PET検査を新たに加え、症例も大幅に増やし、より充実した実用的な内容とした。

## 内容見本

### リンパ管腫 lymphangioma

リンパ管腫は、リンパ管の先天的な形成異常で、リンパ組織の存在するいかなる部位にも生じ得る。組織学的には囊胞性、海綿状、単純性、血管リンパ管奇形の4型に分類される。顎口腔領域においては、舌、頬粘膜、口唇の順に好発する。画像診断の役割は、進展部位ならびに重要臓器との位置関係の把握である。

症例 20歳、女性  
(主訴) 右側頬部の腫脹

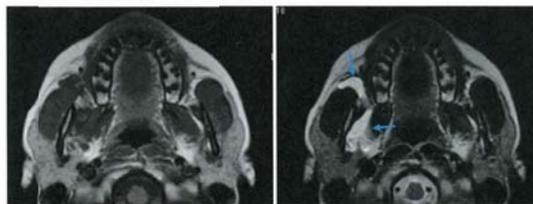
超音波診断 右側頬部に辺縁やや不整な囊胞性病変を認める。内部は線状の高エコーの隔壁により多房性となり、不均一な低エコーを呈している(矢印:リンパ管腫。矢頭:隔壁構造)。



周囲組織との境界は不明瞭である。

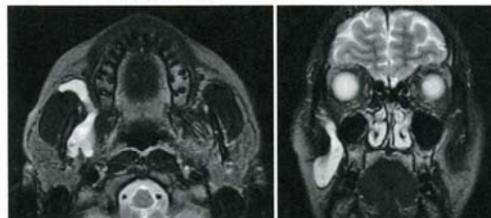
### MRI診断

右側咬筋前縁より内側翼突筋と外側翼突筋間に広がる境界明瞭な腫瘍性病変が認められる(矢印)。病変は、T1強調像にて筋肉とほぼ等信号の低信号、T2強調像にて高信号を示している。内部性状は、T1強調像にて比較的均一、T2強調像にて不均一である。脂肪抑制T2強調像にて信号の抑制は認められない。



T1 強調像

T2 強調像



脂肪抑制 T2 強調像

脂肪抑制 T2 強調像 (冠状断)

### MRI診断のポイント

1. T1 強調像にて低信号、T2 強調像にて高信号を呈する多房性囊胞性病変として描出される。
2. 病変は浸潤性であり、解剖学的構造の間に入り込む、または取り囲むように描出される。
3. 感染による移動がない囊胞性リンパ管腫では、造影像において信号増強効果が認められない。
4. 鼻黒内出血がある場合、液面形成 fluid-fluid level がみられることがある。

急速な医療技術の革新のなかで、コンピュータ技術を取り入れた画像診断の進歩は目覚ましく、歯科領域、特に口腔外科領域においては、その診断、処置、経過観察に欠くことのできないものとなっている。本書は、2001年に本邦初のMRIの解説書として発行した「MRI－顎口腔領域の診断－」の第2版である。新たな著者も加わり、より充実した内容に改訂した。

### ■ ■ ■ ■ ■ 本書の特徴 ■ ■ ■ ■ ■

- 歯科医、研修医、および学生を対象に、MRI診断に対応できるよう基本的事項と応用例をまとめた。
- 総論では、MRIの原理から技術をわかりやすく解説し、各論では、できるだけ多くの症例をとりあげて観察のポイントを明記した。
- 第2版では、超音波診断、PET検査を新たに加え、症例も大幅に増やし、より充実した実用的な内容とした。

## 主要目次

### 総論

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <p>1 MRI画像の原理<br/>MRI診断に必要な基礎知識<br/>MRI装置概要<br/>頭頸部領域の撮像に用いる撮像テクニック</p> <p>2 造影MRI<br/>造影剤</p> | <p>3 アーチファクト<br/>運動性アーチファクト<br/>磁性体アーチファクト<br/>化学シフトアーチファクト<br/>その他のアーチファクト</p> | <p>4 MRIからみた頭頸部の正常解剖<br/>筋膜隙の解剖<br/>頭頸部健全組織ならびに病的組織の信号強度<br/>顎口腔領域のMRI解剖<br/>頸部リンパ節のMRI解剖<br/>顎口腔領域の超音波画像検査</p> |
|--|---|---|

### 各論

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <p>1 炎症性疾患<br/>炎症性疾患におけるMRI診断法<br/>顎口腔領域軟組織の慢性炎症<br/>急性化膿性炎－咀嚼筋間隙膿瘍－<br/>ガス壊疽<br/>上顎洞炎<br/>上顎洞真菌症<br/>扁桃周囲膿瘍<br/>下顎骨骨髓炎<br/>ビスフォスフォネート関連顎骨壊死</p> <p>2 腫瘍性疾患<br/>腫瘍性疾患におけるMRI診断法<br/>A 良性歯源性腫瘍<br/>エナメル上皮腫<br/>角化嚢胞性歯源性腫瘍<br/>石灰化嚢胞性歯源性腫瘍<br/>歯源性粘液腫<br/>B 良性非歯源性腫瘍<br/>セメント質骨形成線維腫<br/>血管腫<br/>筋肉内血管腫<br/>動静脈奇形<br/>リンパ管腫<br/>顎骨の線維性骨異形成症<br/>脂肪腫<br/>神経鞘腫</p> | <p>中心性巨細胞（修復性）肉芽腫<br/>C 悪性歯源性腫瘍<br/>歯源性明細胞癌<br/>D 悪性非歯源性腫瘍<br/>◆上皮性腫瘍◆<br/>舌癌－初期癌（T1症例）－<br/>舌癌－進展癌（T4症例）－<br/>口底癌<br/>頬粘膜癌<br/>上顎歯肉癌－進展症例－<br/>上顎洞癌<br/>下顎歯肉癌<br/>頸部リンパ節転移<br/>化学療法ならびに放射線療法効果判定<br/>悪性腫瘍の神経浸潤による筋肉の脂肪変性<br/>◆非上皮性腫瘍◆<br/>悪性線維性組織球腫<br/>骨肉腫<br/>軟骨肉腫<br/>悪性リンパ腫<br/>悪性黒色腫</p> <p>3 嚢胞性疾患<br/>嚢胞性疾患におけるMRI診断法<br/>A 歯源性嚢胞<br/>含歯性嚢胞<br/>B 非歯源性嚢胞</p> | <p>上顎洞粘液嚢胞<br/>ガマ腫<br/>頬表皮嚢胞、頬皮嚢胞<br/>術後性上顎嚢胞<br/>甲状舌管嚢胞<br/>鼻口蓋管嚢胞</p> <p>4 顎関節疾患<br/>顎関節疾患におけるMRI診断法<br/>顎関節部の炎症性疾患<br/>顎関節症<br/>変形性顎関節症<br/>滑膜炎軟骨腫症</p> <p>5 唾液腺疾患<br/>唾液腺疾患におけるMRI診断法<br/>A 炎症<br/>急性耳下腺炎<br/>B 腫瘍<br/>◆良性腫瘍◆<br/>多形腺腫<br/>Warthin腫瘍<br/>◆悪性腫瘍◆<br/>多形腺腫内癌腫<br/>腺様嚢胞癌<br/>小唾液腺由来腺癌（乳頭状嚢腺癌）<br/>悪性腫瘍の神経周囲性進展</p> <p>MRI関連用語集</p> |
|--|--|---|

(2010年10月/2-1発行)

## 株式会社 学建書院

〒113-0033  
東京都文京区本郷2-13-13本郷七番館1F  
TEL (03)3816-3888  
FAX (03)3814-6679  
<http://www.gakkenshoin.co.jp>

■ お取扱いは